



平成24年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイフイスジャパン
コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 野口 祥吾

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,331	28.0	179	43.3	187	48.4	135	71.5
23年12月期第3四半期	1,821	9.4	124	114.4	126	81.4	79	91.1

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 133百万円 (76.5%) 23年12月期第3四半期 75百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年12月期第3四半期	2,819.08	2,815.57
23年12月期第3四半期	1,617.13	1,614.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年12月期第3四半期	2,259	1,710	73.4	34,442.17
23年12月期	1,958	1,602	79.1	32,162.56

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,658百万円 23年12月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年12月期		0.00		600.00	600.00
24年12月期		0.00			
24年12月期(予想)				600.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,200	30.8	240	34.0	240	32.5	160	28.9	3,322.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社インフォーテック、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	51,070 株	23年12月期	51,070 株
期末自己株式数	24年12月期3Q	2,911 株	23年12月期	2,911 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	48,159 株	23年12月期3Q	48,941 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などを背景とする内需に支えられ緩やかな回復基調にあったものの、円高・デフレの長期化に伴う経済への影響や、新興国経済の減速、欧州の財政不安など、景気の先行きに対する不透明な状況が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ITソリューションプロバイダとして独自の技術をもつ株式会社インフォテックを平成24年2月17日付けで子会社といたしました。これにより、金融情報サービスベンダーとして「紙媒体と電子媒体の融合」のコンセプトのもとに推進してまいりましたソリューション事業のさらなる展開が図れる体制を構築するとともに、株式会社インフォテックが長年培ってきたITソリューション事業を加え、より一層の多彩なサービスを提供することが可能となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,331百万円（前年同期比510百万円増、28.0%増）、営業利益は179百万円（前年同期比54百万円増、43.3%増）となりました。また、経常利益は187百万円（前年同期比61百万円増、48.4%増）、四半期純利益は135百万円（前年同期比56百万円増、71.5%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

『IFIS Research Manager』（アイフィス・リサーチ・マネージャー）や『IFIS Consensus Manager』（アイフィス・コンセンサス・マネージャー）といった主力商品が、昨今の株式市場の低迷などによる証券会社や運用機関の収益の伸び悩みの影響を受け、業績の伸びに陰りが出てきております。一方、オンライン証券向けのASPサービスが堅調に推移したことに加え、大手証券会社向けASPサービスの導入が前期に引き続き業績に寄与しております。また、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュースも堅実に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は434百万円（前年同期比9百万円減、2.1%減）、営業利益は169百万円（前年同期比10百万円減、5.8%減）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

金融法人における証券調査レポートの電子配信移行に伴う印刷物の減少や、事業法人におけるIR活動の縮小に伴うコスト圧縮など、印刷需要全体の減少傾向が続いております。印刷を伴わない翻訳事業は順調に業績を伸ばしておりますが、印刷関連の配送事業も印刷需要の減少にあわせて縮小傾向が続いております。

その結果、売上高は663百万円（前年同期比13百万円減、2.0%減）、営業利益は64百万円（前年同期比21百万円減、24.7%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投信会社において投資信託関連印刷物に対するコスト削減意識が依然として継続しており、当社においても印刷受注量の減少傾向が続いております。一方で、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材が順調に業績を伸ばしており、印刷の受注量減少を補ってまいりました。

その結果、売上高は729百万円（前年同期比28百万円増、4.1%増）、営業利益は177百万円（前年同期比33百万円増、23.0%増）となりました。

<ITソリューション事業>

ITソリューション事業につきましては、第1四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めた株式会社インフォテックのみなし取得日を平成24年3月31日としたため、第2四半期連結会計期間より当該企業の業績を連結しております。当第3四半期連結累計期間においては、当該連結子会社の主力事業である証券・金融業向けシステムソリューションサービスが堅調に推移するとともに、マイグレーションサービスが順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は504百万円、営業利益は50百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ300百万円増加し2,259百万円となりました。

流動資産は309百万円増加し、1,921百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより流動資産が344百万円増加する一方で、株式購入資金として144百万円を支出したことによるものであります。

固定資産は8百万円減少し、337百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより固定資産が36百万円増加する一方で、減価償却などの影響によりソフトウェアが48百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加し548百万円となりました。

流動負債は168百万円増加し、521百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより、流動負債が174百万円増加したことによるものであります。

固定負債は23百万円増加し、26百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより、固定負債が24百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ108百万円増加し、1,710百万円となりました。主な要因は、四半期純利益135百万円の計上と、剰余金の配当28百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月11日に「第2四半期累計業績予想および通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した業績予想に変更はございません。

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社インフォーテックを、平成24年2月17日付で株式取得し子会社化したため連結の範囲に含めております。

なお、平成24年3月31日をみなし取得日としたため、第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,351,933	1,443,455
受取手形及び売掛金	211,713	339,912
有価証券	-	11,660
仕掛品	-	55,197
貯蔵品	14,613	22,982
その他	34,343	50,033
貸倒引当金	765	1,722
流動資産合計	1,611,837	1,921,519
固定資産		
有形固定資産	38,161	42,990
無形固定資産		
のれん	1,545	882
ソフトウェア	200,506	157,899
ソフトウェア仮勘定	9,540	6,200
その他	604	1,469
無形固定資産合計	212,196	166,452
投資その他の資産	96,262	128,479
固定資産合計	346,620	337,922
資産合計	1,958,458	2,259,442
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,495	202,958
短期借入金	-	31,247
未払法人税等	34,637	34,429
賞与引当金	8,066	38,886
その他	149,117	214,470
流動負債合計	353,317	521,991
固定負債		
長期借入金	-	1,690
退職給付引当金	-	13,803
その他	2,913	11,405
固定負債合計	2,913	26,899
負債合計	356,230	548,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,290	381,290
資本剰余金	437,090	437,090
利益剰余金	808,557	919,050
自己株式	77,912	77,912
株主資本合計	1,549,025	1,659,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	711
為替換算調整勘定	-	106
その他の包括利益累計額合計	108	817
少数株主持分	53,311	51,850
純資産合計	1,602,227	1,710,550
負債純資産合計	1,958,458	2,259,442

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,821,322	2,331,785
売上原価	1,080,127	1,480,159
売上総利益	741,195	851,625
販売費及び一般管理費	616,261	672,622
営業利益	124,933	179,002
営業外収益		
受取利息	483	438
受取配当金	452	142
持分法による投資利益	-	5,214
技術指導料	-	1,634
その他	781	1,783
営業外収益合計	1,717	9,213
営業外費用		
支払利息	-	508
為替差損	-	72
自己株式取得費用	226	-
営業外費用合計	226	581
経常利益	126,424	187,634
特別利益		
出資金売却益	-	1,445
負ののれん発生益	-	8,142
特別利益合計	-	9,587
特別損失		
固定資産除却損	101	303
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,750	-
特別損失合計	9,851	303
税金等調整前四半期純利益	116,572	196,918
法人税、住民税及び事業税	46,631	61,338
法人税等調整額	6,182	1,276
法人税等合計	40,449	62,615
少数株主損益調整前四半期純利益	76,123	134,303
少数株主損失（ ）	3,020	1,460
四半期純利益	79,144	135,764

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成23年1月1日 至平成23年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	76,123	134,303
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	425	602
持分法適用会社に対する持分相当額	-	106
その他の包括利益合計	425	709
四半期包括利益	75,697	133,593
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,718	135,054
少数株主に係る四半期包括利益	3,020	1,460

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成23年1月1日至平成23年9月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディス クロージャー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	443,593	677,365	700,363	1,821,322	-	1,821,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	29,050	-	30,050	30,050	-
計	444,593	706,415	700,363	1,851,372	30,050	1,821,322
セグメント利益	180,245	85,070	144,098	409,413	284,480	124,933

（注）1．セグメント利益の調整額 284,480千円には、セグメント間取引消去1,924千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 286,404千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年9月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディ スクロージャ ー事業	ITソリュー ション事業 （注）3			
売上高							
外部顧客への売上高	434,060	663,828	729,317	504,579	2,331,785	-	2,331,785
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	18,634	22	4,890	24,546	24,546	-
計	435,060	682,462	729,339	509,469	2,356,331	24,546	2,331,785
セグメント利益	169,854	64,051	177,298	50,551	461,755	282,752	179,002

（注）1．セグメント利益の調整額 282,752千円には、セグメント間取引消去 1,714千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 281,038千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3．ITソリューション事業につきましては、株式会社インフォテックを平成24年2月17日付で子会社化し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成24年3月31日としたため、第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれんの発生益）

ITソリューション事業において、当社は株式会社インフォテックの株式を取得し連結子会社としました。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,142千円であります。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。